

平成22年度 松本筑摩高等学校 重点目標の中間評価

平成22年12月3日

学校教育方針	中・長期的目標
定通の和を尊び、理想の追求を象徴する校章と校歌に示された精神をもとに、 1. 知性の涵養 2. 品性の陶冶 3. 心身の練磨 を目的とする。	「心あらたな学び直し」 「限られた時間を活かしての学び」 「働きながらの学び」 を願う人々の要望に応える教育活動を展開すること。

	今年度の重点目標	評価	成果と課題
定 時 制 午 前 部 ・ 午 後 部	○生徒一人ひとりの資質・能力の伸長	B	国語・数学・英語では、習熟度別授業を実施し、一人一人の進度に合わせることで、能力の伸長が図られている。低年次から進路意識を高めることと、キャリア教育の推進が課題である。
	○他を思いやる豊かな心の育成	B	今年度は「他人を想像する心」の育成をテーマに掲げ、全校集会等の中で、生徒に語りかけてきた。また、保護者向けの通信の発行を行い、家庭との連携を図った。
	○社会力の育成	B	総合的な学習の時間やLHRの時間を利用して、SSTの導入を模索している。生徒のコミュニケーション力を高める指導の充実が今後の課題である。
	○基礎学力定着のための授業改善	A	授業アンケートを昨年度以上に充実させ、今年度新たに統計的な処理を行い、グラフ化した資料を作った。これをもとに各教科担当者が、授業改善をより意識することができた。
	○教育課程の工夫・改善	B	今年度入学生より、新たに国語・数学・英語で「学びなおし」を目標とした選択科目を開設した。数多くの学校設定科目を開設することで、選択科目が充実してきている。
	○特別支援教育の充実	A	特別支援教育コーディネーターを4人に増やした。特別支援教育委員会が個別の指導計画を作成し、全職員が共通理解の下で、生徒支援にあたることができた。
定 時 制 夜 間 部	○基礎学力の定着と単位修得率の向上	B	・1年次のドリルでは基本的な計算を繰り返すことにより、できなかった生徒もできるようになり効果が出てきている。 さらに定着に向けてドリルの時間以外での学習習慣の育成が課題である。 ・単位修得率は3年次以外は向上している。
	○進学および就職などの進路保障の一層の充実	B	・就職では11月1日現在8名が内定。進学では4名が合格。 ・企業開拓と就職希望者への一層の指導の充実。
通 信 制	○単位修得率の向上	B	○ 新入生にプチ・スクーリングを新規に企画しレポートの書き方などレクチャーした。担任や教科担任からの連絡を密にした。 ○ 登校しなくなった生徒を、いかに学校へ登校させるか。 ○ 放送視聴による面接補充の研究。
	○添削・指導の工夫・改善	B	○ アドバイスの記入や解答のヒントを細かく書くことにより、生徒の意欲を高めるよう心掛ける。 ○ 研修会や、互いに研鑽し合う機会を増やす。
	○補充スクーリングや個別指導の工夫	B	○ 補充スクーリングや、日月以外の登校日に個別指導を受けるよう働き掛けた。多くの生徒が積極的に利用した。